

兆しは無く、豊後大野市も依然として厳しい状況が続いています。特に、商工業は過疎、高齢化の中で後継も難しくなり、廃業を余儀なくされる事業所も多くなっています。

私自身、会長を仰せつかつて二年目の昨年は、このような状況を踏まえ、いかにすれば商工業が発展できるのか、事業計画を立てながら事業推進を行つてまいりました。

特に、「昨年から実施しています「会長の支部別懇談会」では、各地域の実情を知ることができ、また商工会のことのみでなく、豊後大野市に関することなど皆様からの声をお聞きすることができました。これまで実施し

新たな年を迎えるにあたり、皆様には健やかにお過ごしのことと存じます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて、民主党政権から自民党政権に代わつて、早くも一年が過ぎました。アベノミクスの経済政策は国にしてみれば一番の目玉でありました。自動車業界等の海外にまで進出し、製品を売り出す企業にとっては、この政策が経営を大きく後押ししたと言つた報道は誰もが耳にしたことではないでしょうか。

しかし、残念ながら地方にはまだまだその



# 商工会長年頭の挨拶

豐後大野市商工會長 芦刈憲司

てきた経営指導 記帳指導 更に事業推進等は本当にこれで良かったのか。皆様の意見をいただきことで、振り返ることができたように思います。

ところで、「1年の計は元旦にあり」とのことわざがあります。これには、『物事を始めにあたって計画をしつかり立てなさい』と『何事を始めるにも初めが肝心』との解釈があるようです。商工業の振興には課題も多く、取り組まなければならないことが山積しています。年頭に当たり、しつかり1年間の計画を立てながら事業推進をしていきたいと思います。

商工業の発展無しには、豊後大野市の発展はないことは言うまでもありません。商店街の活性化や商店が発展しなければ豊後大野市は衰退してしまっても過言ではないと思っています。そのためにも商工会は責任ある立場であるとも思っています。

豊後大野市商工会に加盟する皆様のご協力ををお願いし、商工会発展に最大の努力をしていく覚悟です。本年1年間、会員皆様のご多幸をお祈りして、新年のごあいさつとさせていただきます。

# 豊後大野市商工会 会報

# 豊後あさひ

第33号

平成26年1月1日発行

# 謹賀新年

# 豊後大野市商工会役員一同

## プレミアム 付き商品券

# 使用期間と換金期限の確認を!

市内消費者の買物の利便性と購買力の流出防止を図り、低迷する地域小売商業の活性化に資することを目的とした  
プレミアム付き商品券「レインボーシティ商品券」の使用期間と換金期限は次の通りとなっております。

使用期間を過ぎた商品券は利用できなかったり、また、換金期限を過ぎますと現金に換金できなくなりますので、  
使用期間、換金期限をご確認のうえ期限内の対応をよろしくお願ひします。

■使用期間：平成25年7月22日(月)から平成26年1月19日(日)までの間

■換金期限：平成26年3月17日(月)まで

※加盟店は、使用済の商品券を最寄りの商工会本所・支所へご持参下さい。

# 豊後大野の商工振興発展に連携と協力を！

## —商工議員と商工会役員が本音の語らい—

商工会の果たす役割や市内商工業の振興発展、更には地域経済の総合的な活性化に資することを目的とした、豊後大野市議会商工議員と商工会役員との懇談会が、11月27日（水）、午後4時からホテルますの井で開催されました。

日本経済は、安倍政権が打ち出したアベノミクスによる金融緩和政策等によって景気は上向き傾向にあるとはいうものの、地域の小規模事業者を取り巻く経済環境は依然として厳しく景気回復の実感とは程遠い状況下にあると言えます。懇談会では、こうした状況を踏まえ、「豊後大野市の要望事項」の二つのテーマをもとに意見交換を行いました。

懇談会には、小野泰秀議長をはじめとする商工議員10名と商工会からは芦刈会長以下商工会の役員6名が出席。

最初に、主催者である芦刈商工会長が開会挨拶を述べたあと、議員を代表して小野議長が来賓挨拶し、続いて、事務局から平成25年度の事業実施計画及びこれまでに取り組んだ事業概要について、また、芦刈商工会長から、商工会運営補助金やプレミアム付き商品券事業補助金の継続実施をはじめツーリズム協会の早期設立による地域振興事業の一体的取組みの実施、商店街活性化のための支援等豊後大野

市への要望事項の概要説明を行いました。

懇談会では、本年度から市が推進することとなつた食のモデル構築事業との連携による農商工連携の取組みやネットビジネス推進の重要性、また、ジオパーク認定を受けての今後の取組み方など多くの意見・提案が出されました。

商工会では、議会との連携強化事業の一環として商工議員との懇談会を毎年開催して行くことにしており、豊後大野市の商工業の振興や地域の活性化策をテーマに、今後も議会との情報交換を密にして課題解決に向けた方策を検討・模索していく方針です。

### ● 豊後大野市へ要望した事項 ●

- ①商店街活性化支援のお願い
- ②商工業振興のための商工会運営補助金継続のお願い
- ③商業活性化のためのプレミアム付き商品券発行継続のお願い
- ④豊後大野市小規模事業者経営改善資金利子補給制度継続のお願い
- ⑤ツーリズム協会の早期設立検討のお願い
- ⑥備品購入及び建設発注に対する市内業者の優先についてのお願い
- ⑦市内の小売店に買い物に行く運動のお願い
- ⑧豊後大野市ふるさとまつりの市内巡回開催のお願い



今回の講師は、元兵庫県商工会青年部連合会会長の立石裕明

会青年部（大野市商工会青年部・野津町商工会青年部・九州アルプス商工青年部）の開催による平成25年度経営資質向上事業課題対応研修会が、11月20日、ホテルますの井で開催され、豊肥地区商工会青年部員など約40名が参加しました。

この研修会は自らの経営能力・資質の向上を図るとともに地域に根ざした商工業のあり方を考え、実践することを目的としています。

### 平成25年度経営資質向上事業課題対応研修会

## 「真の経営者となるために、生き抜く力を学ぶ」



立石先輩は、「真の経営者となるために、生き抜く力を学ぶ」をテーマに講演。立石先輩の実体験に基づいた、青年部員として、後継者として、そして経営者としての心構えについて熱く語って頂きました。この研修会に参加した青年部員は「一心に響きました」「後継者としての心構えができました」と有意義な時間となりました。

シリーズ  
経営革新を取り入れる

## メルヘン3Dに夢をかける

三重町赤嶺

(有)あいざわ  
合澤 希就さん

『メルヘン3D』が売れていた。花だけでなく、いろんなものにアイデアを出しながら挑戦し、こんなものを作り出してい

る。ずっと以前は、病人への見舞いと言えば生卵を包んで、それが缶詰、お菓子と変遷してきた。高度成長期になると花に代わり、今はウイルスの伝染等で花も病院へは持ち込めなくな

った。平成6年のある時期に男性が訪れてきた。「母親が入院していて、自分は遠くにいるため週末にしか母親を見舞うことができない。さりとて花も持つていけない。何か良い方法はないだろうか」との相談を受けた。これが、この商品を考案したきっかけだった。

生来、本人は断れない気質で、『なければ作ればよいではないか』と燃えるタイプ。メルヘン3Dは額縁くらいの大きさで、それに奥行きがあり、中には立体感を醸し出す自然の景色が描

かれ、動物などもあしらつた心安らぐ手造りの作品である。今はお見舞いに、贈答品に人気ではお見舞いに、贈答品に人気があり上昇している。母親への見舞いは現在作られている作品の始めであり、軽くたけば鳥の声のする作品であつた。

—大決心して  
家業を継いだ  
「花屋さん」

昭和62年には赤嶺バイパスに進出して、花専門の店として事業展開。「私は葬儀の司会も頼まれたことがあるし、ある結婚式も企画したことがあります。というほど様々な経験もしてきました。対面して話を伺っていると、これからどんな展開をしていくのだろうかと、何かしらエネルギーをもらった感じがした。

今では家族、従業員全員でこの作品づくりに取り組んでいる。

店に入ると一角に作品がずらりと並ぶ。「これが売れるんですよ。この作品と生花をセットで買ってくださるお客様もいます。贈答品にすれば、生花が枯れても、この作品は残るし、いつまでも楽しめますからね」合澤さんはこの作品にまますます夢をかける。



### 日本政策金融公庫の貸付利息 (平成25年12月13日現在)

○普通貸付	
融資期間	基準利率(%)
5年以内	1.90
5年超 6年以内	1.90
6年超 7年以内	2.00
7年超 8年以内	2.00
8年超 9年以内	2.10
9年超 10年以内	2.20
10年超 11年以内	2.20
11年超 12年以内	2.30
12年超 13年以内	2.30
13年超 14年以内	2.40
14年超 15年以内	2.40
15年超 16年以内	2.50
16年超 17年以内	2.50
17年超 18年以内	2.60
18年超 19年以内	2.60
19年超 20年以内	2.70

  

○経営改善貸付	
運転資金・設備資金	1.60%

ホームページ : <http://www.jfc.go.jp/>

## 平成25年度歳末共同大売出し お買物券の換金期限について

抽選日 平成26年1月10日(金) 13時から

お買物券利用期限 平成26年2月11日(火)まで

※お買物券ですので、現金のおつりは支払わないでください。

加盟店の換金期限 平成26年3月14日(金)まで

※換金期限終了後の換金はできませんので、ご注意ください。

換金場所 豊後大野市商工会本所・支所  
(9時~17時まで/土日祝以外)

換金方法 お買物券をご持参ください。

# 商工貯蓄共済

貯蓄と有利な融資と生命保障の3つを組み合わせた商工会会員のための共済制度です。本制度の内容をご理解頂きまして全会員のご加入をお待ちしています。

- 1 貯蓄** 毎月の掛金は、その大部分が貯蓄積立金となり、保険料にまわる金額がごくわずかです。
- 2 融資** 事業資金および消費関連資金として融資が受けられます。
- 3 保証** 万一の場合に大きな保障(生命保険)があります。

## ●加入資格

商工会の会員・家族・従業員で年齢が6歳から70歳までの健康な方(10年満期は65歳まで)

## ●掛金

掛金は1口当たり月額2,000円(モデル1.6)、月額2,500円(モデル4)です。

**現在、増強月間実施中です。この機会にご加入をお願いします。**

※詳しくは商工会までお問い合わせください

経営者ご自身の「現役引退後の生活資金」のことをお考えですか?

年金だけでは不十分で、不安がある。  
自分で積み増しするには、どんな  
ものがあるのかな…



1

加入し、掛金を毎月  
積み立てておけば…

### 小規模企業共済制度

平成23年1月から、個人事業主の  
「共同経営者」も加入できます!  
一事業主につき「2名」まで。



加入できない  
※詳しくは下記連絡先まで

2名まで加入できる

2

将来、「廃業」「役員退任」  
等が生じたときに共済金を  
お受け取りいただけます。

3

現役引退後の  
安心した生活設  
計が図れます。

★掛金は全額所得控除の対象になります。(左図は掛金月額3万円の場合)

●共済制度の詳しい内容は、パンフレット等を必ずご覧ください。

共済制度のお申し込みは

**豊後大野市商工会  
本所・支所へ**

制度の運営機関

中小企業と地域活性化をともなサポート  
運営実行委員会  
中小企業基盤整備機構

05-8453 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

共済相談室 TEL 050-5541-7171

L <http://www.smrj.go.jp/kyosai/index.html>

### 福祉共済制度に

## 「生命」保障が新登場

死亡共済金1,000万円から6,000万円までのBIGな保障がご用意できました。割安な掛け金で更に配当が受け取れます。単独加入もできます。

詳しくは、商工会本所・支所までご連絡ください。

### ～商工会会員状況～

* 平成25年4月1日現在	902
加入	28
脱退	20
* 平成25年12月1日現在	910

★未加入者のご紹介をお願いします。

### 年金等に関するご相談について

毎月第2木曜日の午前10時から午後3時まで、社会保険事務所が、商工会本所にて社会保険出張相談を実施しております。是非ご利用下さい。

1月、2月の相談日は



1月9日(木)と  
2月13日(木)です。

## 豊後大野市商工会

本 所 / 〒879-7131 豊後大野市三重町市場 539 番地  
TEL 0974-22-1193 FAX 0974-22-5759

朝地支所 / 〒879-6222 豊後大野市朝地町朝地 891 (市役所朝地支所2階)  
TEL 0974-72-0049 FAX 0974-72-0566

大野支所 / 〒879-6441 豊後大野市大野町田中 77-1  
TEL 0974-34-2234 FAX 0974-24-5101

緒方支所 / 〒879-6601 豊後大野市緒方町馬場 269-2  
TEL 0974-42-3310 FAX 0974-42-3361

清川支所 / 〒879-6903 豊後大野市清川町砂田 1819 (市役所清川支所内)  
TEL 0974-35-2277 FAX 0974-35-2090

三重支所 / 〒879-7131 豊後大野市三重町市場 539  
TEL 0974-22-1193 FAX 0974-22-5759

犬飼支所 / 〒879-7306 豊後大野市犬飼町下津尾 4037  
TEL 097-578-0059 FAX 097-578-1514

千歳支所 / 〒879-7401 豊後大野市千歳町新殿 235-3  
TEL 0974-37-2953 FAX 0974-37-2953

HP : <http://bungo-ono.oita-shokokai.or.jp>  
mail : [info@bungo-ono.oita-shokokai.or.jp](mailto:info@bungo-ono.oita-shokokai.or.jp)